

発達が心配な子どもの 感覚処理と不器用の課題

お子様は困っていませんか？

「学習や生活場面で目立ってくる身体の問題」

子どもたちの得意・不得意の状態は、外見からは分かりにくいです。発達が心配な子どもは、身体や環境からの感覚入力に対して、低反応もしくは過剰反応を示す場合があります。感覚処理や運動・動作で困り感が生じます。それは、就学後の学習や生活場面で目立ってきます。今回、身体の発達を学ぶと同時に、具体的な演習をとおして、サポートの仕方を体験します。



▶日時：**11月17日(日)**9:45-11:45 〈開場9:45〉

▶内容：『講義) 身体発達の基本原則と感覚処理』
『演習) 教材を用いた療育・支援の実際』

▶講師：**山本春香** (たすく札幌 作業療法士) 他



講師：山本春香

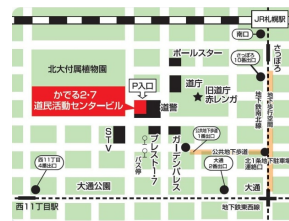


ファシリテーター
渡邊倫

▶会場：北海道立道民活動センター
かでの2.7 1030会議室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

▶費用：保護者無料

▶対象：発達の心配があるお子さんをお持ちのご家族 (50名)



☎011-676-4949 ✉sapporo@tasuc.com

申込QRコード



【講師紹介】山本春香/札幌出身。道南にあるおしま地域療育センターの作業療法士として、発達が気になる幼児～学齢期の療育に7年間従事。その後、生涯にわたって発達支援ができる支援体制を創るため、2018年より現職。渡邊倫/2008年よりTASUCグループに所属し、延べ500名以上の子どもたちのアセスメントと療育を重ねる。2012年からは東京都教委の外部専門家連携事業など機関コンサルテーションにも従事し、本年より現職。

